



## 世界へ羽ばたく「英語人」育成のための教育を目指します。

英語に関する専門知識、高度な英語力、そして実践的な教育力を身に付け、英語教育に精通した高等学校教員、そして、これからの中等教育における英語教育を創造し、牽引できる教員養成を目指します。そのために、高等学校により焦点を当てた、深い専門的な内容を扱った授業と、教育力と語学力を高める授業をより多く履修することができます。



3年生のプレゼミ風景



### 4年間の学び

英語専修では、4年間を通じて、英語文学、英語学、そして英語教育の3領域すべてを学修します。英語文学領域では、英語で書かれた世界の文学について学びます。英語学領域では、英語の音声・文法・歴史についての科目を核として、学校教育に関連のある内容を学びます。英語教育領域では、第二言語習得の理論を支柱としてさまざまな指導法を学び、実践につなげる方法を学びます。特に高校コースは、2年次以降、附属高校での模擬授業等を通して理論と実践の往還を図ることで、高い専門性を身に付けることができるように設計されています。また、義務・高校の両コースは3、4年次に実習を行い、4年間の集大成として、英語で卒業論文を書きます。

#### 取得できる免許

##### 〔卒業要件に含める免許状〕

高等学校教諭一種免許状(英語)

##### 〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(英語)

◎特別支援学校教諭二種免許状

##### 〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

◎高等学校教諭一種免許状(情報)

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

### 先輩Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 英語専修4年  
愛知県立五条高等学校出身



どうしたら英語を楽しんで学べるか？  
試行錯誤する中で見た、生徒の変化。  
教員の魅力を改めて感じた瞬間でした。

英語教員は「英語ができる」だけでは務まりません。教科を分かりやすく教えること、そして生徒を人として成長させることも大切な役割です。だからこそ、英語を専門的に研究する先生と、現場経験が豊富な先生の両方から学べる環境は、理想的でした。隣接する附属高校の生徒に教えたり、現職の先生から授業やテストの作り方を学んだり、「実践」の場も豊富です。英語が苦手な生徒が授業に楽しく参加できるよう工夫するなど、試行錯誤する中で生徒の変化が見られたときは教員の仕事のやりがいを感じることができました。

#### ■ 2023年 2年次後期の時間割 (例)

|     | 月曜日        | 火曜日             | 水曜日                                     | 木曜日   | 金曜日        |
|-----|------------|-----------------|-----------------------------------------|-------|------------|
| 1時限 |            |                 | 学校体験活動Ⅰ                                 |       | 道徳教育の理論と方法 |
| 2時限 | 英語科教育演習Ⅲ   | 英語文学演習Ⅲ         | 学校体験活動Ⅰ                                 |       | スポーツⅡ      |
| 3時限 | 中等英語科教育法CⅠ | 学校教育におけるICT活用   | この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。 | 英文学概説 | 英語学講義Ⅱ     |
| 4時限 |            |                 |                                         | 異文化理解 |            |
| 5時限 |            | 肢体不自由者の教育課程・指導法 |                                         |       |            |

※上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。